

# 長野県農業大学校農学部 畜産実科・研究科

で畜産を学んでみませんか？



**オープン・キャンパス 令和5年8月4日(金)12時30分～**

**畜産試験場 会議棟 高校農ク「家畜審査競技会」と同時開催**

## 1 どんな学校？ 特徴は？

長野県農業大学校農学部畜産実科・研究科は長野県畜産試験場(塩尻市片丘)に併設されている学校で、畜産後継者や雇用就農など畜産に就農する人材を養成しています。

講義・実習は、畜産の最先端技術開発に従事している研究者約20名が直接指導します。また、畜産試験場の乳用牛約70頭、肉用牛約70頭、豚約300頭、鶏約4,000羽、圃場面積約27haを実際に利用して、基礎的レベルから最新技術まで、要望に応じたさまざまな知識・技術を習得することができます。

現在では、4年制大学でも乳用牛を飼育しているところのごく少なくなっており、酪農に関する先端技術と実務とを併せて習得できる貴重な場所となっています。



校舎(畜産試験場本館内)

## 2 入学資格は？

畜産実科：高校を卒業するか、それと同等の資格・学力を有すると認められる者

畜産研究科：農業大学校の実科を卒業した者。または短期大学・四年制大学を卒業した者

## 3 具体的にはどんなことを学ぶの？

畜産実科：乳用牛、肉用牛、豚、鶏、飼料作物についての実習と講義を通じて、畜産一般の基礎的技術・知識を習得します。特に家畜にふれる機会を多くするため、全カリキュラムの半分近くが現場での実習・演習になるようにしてあります。

畜産研究科：実科での学習を基礎に、乳用牛、肉用牛、豚、鶏、飼料作物等の中から各自の希望分野を定め、研究員の指導のもと、より専門的で高度な先進技術・知識を学びます。実科の卒業生は研究科に進み、めざす畜種の現場に即応できる技術を習得する人が少なくありません。

## 4 取得可能な資格は？

畜産実科：**家畜人工授精師、大型特殊(トラクター)・けん引運転免許**、毒劇物取扱者、フォークリフト、危険物取扱者、食品衛生責任者、ガス・アーク溶接など

畜産研究科：毒劇物取扱者、危険物取扱者、車両系建設機械、フォークリフト、ガス・アーク溶接など



## 5 必要な学習経費は？

入学金 5,650 円、授業料(年額) 42,000 円です。

他に、教科書・教材費、資格取得費用、研修費など約 200,000 円、 研修旅行費 110,000 円などです。

## 6 学生寮はあるの？

畜産試験場の構内に男女別棟の竜神寮があり、卒業生たちはともに生活するなかで生涯の友を作ってきました。寮生活にかかる経費は、例年、光熱水費と自炊に係る食材費用等で年間 150,000 円程度を見込んでいます。

## 7 卒業後の進路は？

自営 3 名、民間牧場、農業法人等勤務 24 名、その他(全農長野県本部、農業関連企業等) 8 名というのが直近 5 年間(平成 29～令和 3 年度)の卒業生の進路状況です。

当実科・研究科の卒業生は、職員と密接なつながりができるため、就農・就職してからも気軽に相談し、さまざまな指導や助言を受けています。

## 8 その他

実科・研究科とも、年間を通して一つのテーマに取り組み、やり遂げることを目的に、「専攻研究」を行っています。以下は今年の学生のテーマの一例です。

- ・パステライザーを用いた発酵代用乳作成の検討
- ・牛肉のオレイン酸含量に及ぼす要因の解明
- ・肥育素牛の価格に及ぼす要因の解明(木曾市場の動向より)
- ・地球温暖化に対応した暖地型牧草の栽培試験
- ・地鶏飼育におけるエコフィード(ブドウ粕、リンゴ粕等)の活用法
- ・マンガリツアの肥育試験 など

問合わせ先: 長野県農業大学校畜産実科研究科  
〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘10931-1  
(長野県畜産試験場内)

電話: 0263-52-1188

FAX: 0263-51-1316